

Title	利用学生の声 サイバーメディアフォーラム no.11 CALLシステム
Author(s)	
Citation	サイバーメディア・フォーラム. 11 P.46-P.46
Issue Date	2011-01
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/70306
DOI	
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

利用学生の声

堀井 佳織 (人間科学部 1 年)

CALL 教室での語学の授業は、高校とは一風違った雰囲気を楽しんでいます。初めは、キーボード入力に慣れるまでに時間がかかりました。キーの配置が微妙に違い、入れたいアルファベットを探すのに苦労していました。私は今までの学習方法が紙の辞書を使ったりひたすらノートに書いたりなどアナログなものであったので WebCT で提出という形式に戸惑うところもありましたが、今ではだいぶ慣れ、繰り返し同じ問題を解ける WebCT をテスト勉強に使っています。予習は紙の辞書、復習は WebCT と使い分けることで学習の効率が上がったと思います。

照屋 志帆乃 (人間科学部 1 年)

私は仏語初級の授業を CALL 教室で受けている。最初のうちは「なぜ語学をパソコンで学ばねばならないのか」と疑問であった。パソコンに苦手意識がなくとも、テストも PC で、と言われれば少なからず嫌なものだと思うのではないだろうか。しかし、講義が進むにつれて、『発音がすぐ聞ける』『モニタが目の前にあり見やすい』『ネット上で演習ができる』の様に利点が目立つようになった。共通教育棟から来るのがちょっと面倒、ということさえ除けばとてもいい授業形態だと感じている。
